

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【446】
2. 日時：令和5年3月31日 13時30分～15時35分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、千明主任安全審査官、
服部(正)主任安全審査官、三浦主任安全審査官、谷口技術参与
技術基盤グループ

小林技術研究調査官、大橋技術研究調査官※

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（電源土木） 他2名

電源事業本部 耐震設計建築グループ マネージャー 他24名※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 原子力建築室 担当※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本ヒアリングについては、事業者から一部対面での開催の希望があったため、「まん延防止等重点措置の解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」（令和4年3月23日 第73回原子力規制委員会 配布資料2）を踏まえ、一部対面で実施した。

6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	はい。議事録規制庁チギラです。
0:00:05	島野原子力発電所 2 号機、設工認のヒアリングを始めます。
0:00:10	本日、ここの説明項目は、耐震計算書関係とあと強度計算書関係のコメント回答となります。
0:00:19	それでは資料の確認と、左の進め方について説明をお願いします。
0:00:26	中国電力の落合です。それでは資料の確認と番号取りをさせていただきます。資料は全部で 24 種類ございます。
0:00:34	まずは、共同化強度計算書の火山関係になります。これが 9 冊ございます。
0:00:41	まず、資料番号がN-S新野他の 194 回 04、これを資料番号 1 といたします。
0:00:49	続いてN-S2 の添 3-01401 これを資料番号 2 番といたします。
0:00:55	それからN-S2 の添 3-014-13 岡井 02 卸番号 3 番といたします。
0:01:02	それからN-S2 の添 3-014-14 回 02、これを資料番号 4 番といたします。
0:01:09	続いてN-S2 の添 3-014-15 回、0 にこれを資料番号 5 番といたします。
0:01:16	続いてNSDの添 3-014-16 回 0 に考慮資料番号 6 番といたします。
0:01:23	続いてN-S2 の添 3-014-17 回 0 にこれを資料番号 7 番といたします。
0:01:30	続いてN-S2 の添 3-014-18 回 02 フォロー資料番号 8 番といたします。
0:01:37	続いてN-S2 の方の 030 回 05、卸炉番号 9 番といたします。ここまでが火山関係になります。
0:01:45	続いて耐震計算書の中央制御遮へいに関するものが 4 冊ございまして、資料番号がN-S新野他の 337、これを資料番号 10 番といたします。
0:01:56	続いてN-S2 の添 2-008-20 回、01 これをシバ 51 といたします。
0:02:03	続いて、N-S2 の方の 025-09 回 01、これを資料番号 12 といたします。
0:02:10	続いてN-S2 の添 5-058 これを資料番号 13 といたします。ここまでが中央制御社員への耐震計算書に関連するものになります。
0:02:19	続いて耐震計算書の減少建物に関するものが 3 冊ございまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:24	資料番号がN-S新野他の 190 回 05、これを資料番号 14 といたします。
0:02:30	続いてN-S2-添 2-002-02 回 01、卸炉番号 10 号といたします。
0:02:37	続いてN-S2 の方の 024-01 回 08、これを資料番号 16 といたします。ここまでが減少建物の耐震計算書になります。
0:02:47	続きまして減少建物基礎スラブの耐震計算書が 3 冊ございまして、
0:02:52	資料番号がN-S新野他の。
0:02:55	267 回 05、これを資料番号 17 といたします。
0:03:00	続いてN-S2-添 2-009-19 回 01、これをシバ 58 といたします。
0:03:07	続いてN-S2 の方の、
0:03:09	025-11 回 05、これを資料番号 19 といたします。ここまでが原子炉建物基礎スラブに関するものです。
0:03:18	続きまして、耐津波設計方針に関するものが 3 冊ございまして、
0:03:24	資料番号がN-S新野他の 231 回 33、これを資料番号 20 といたします。
0:03:31	続いてN-S2-添 2-0。
0:03:34	11 の 11 回 02、これを資料番号 21 といたします。
0:03:39	続いて、N-S2 の方の 027-08 会員 36 号用資料番号 22 といたします。
0:03:47	ここまでが津波に関する津波設計方針に関するもので、最後に地盤支持性能に関するものが 2 冊ございまして、資料番号がN-S新野他の 056 回、14、これが資料番号 23 といたします。
0:04:01	最後にNSDの方の 023-01 回 14、これを資料番号 24 といたします。資料の方おそろいでしょうか。はい。資料の方確認できました。
0:04:13	はい。中国電力のオチアイでそれでは進め方についてですけども、まず最初に、資料番号で言いますと、10 番から 13 番の中央制御遮へいに関するものを、
0:04:25	まず最初にご説明させていただきます。そのあとに、資料番号で言いますと一番から 9 番の共同計算書の火山関係を、
0:04:34	ご説明をさせていただきます。そのあとに、土木関係になりますけども資料番号で言いますと 20 番から 24 番、
0:04:42	津波設計方針と地盤支持性能に関するものをご説明させていただきます。
0:04:47	最後に、資料番号の 14 から 19 の建物構築物の減少建物及び原子炉建物基礎スラブに関するご説明の順番で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:57	させていただこうかと考えておりますが、いかがでしょうか。
0:05:01	はい。説明の進め方についてはいいわかりました。
0:05:05	それでは説明の方をお願いします。
0:05:19	中国電力の
0:05:20	中国電力の仲村です。それでは資料 10 番から 13 番は、
0:05:25	お願いします。資料 10 番整理表の一番、1 ページをお願いいたします。
0:05:34	前回 3 月 3 日のヒアリングにおけるコメント回答についてご説明いたします。
0:05:39	コメント内容としましては、添付書類に記載している天井スラブの境界条件を、地変添付に記載している条件を、
0:05:48	底盤や両端固定梁としていることについて、3 次元FEMの結果を踏まえて、実実情の固定状況を表しているか確認し計算書の構成を説明することです。
0:05:58	こちらについては火山評価も含めてということで、コメントを受けておまして後程火山についてもご説明いたします。
0:06:04	回答としましては、制御室建物の天井スラブについては、スラブを支持する 4 階の外壁の厚さが、天井スラブの厚さに対して薄いため、
0:06:14	天井スラブ端部の固定状況を適切に評価するために、周辺部を含む 3 次元FEMモデルを用いた弾塑性応力解析の結果を添付書類に記載いたしました。
0:06:24	またそれに伴い、添付書類及び補足説明資料の構成を見直しております。
0:06:29	今回添付書類と補足説明資料構成が大きく前回から変わっておりますので、改めて 3 次元FEMのところを中心に、ご説明いたします。10 分程度でご説明いたします。
0:06:42	資料 11 番の中央清潔遮へいの耐震計算書をお願いします。
0:06:49	18 ページをお願いします。
0:06:54	4.1. 1 天井スラブの評価方針としまして、(1)でSG地震時に対する評価、それから(2)で、Ss地震時に対する評価を実施することを記載しています。
0:07:07	いずれも 3 次元FEMモデルを用いた弾塑性解析により、応力、またはひずみを評価いたします。
0:07:14	ページ飛びまして 33 ページをお願いします。
0:07:20	33 ページの方に、応力解析による評価における許容限界を整理しています。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:26	基準地震動 S_s に対して、3次元FEMにより評価を実施する天井スラブにつきましては、CCV規格に基づくコンクリートと鉄筋のひずみを許容限界として設定いたします。
0:07:38	面外せん断力に対しては、短期許容せん断力を許容限界といたします。
0:07:43	床スラブについては、RCM基準に基づく短期許容応力度を許容限界といたします。
0:07:50	SD地震時に対しての評価においては、いずれの部材も短期許容力度を許容限界といたします。
0:07:58	続いて 36 ページをお願いいたします。
0:08:04	36 ページの方にモデル化の基本方針と、続く 37 ページに解析モデルを図示してお示しています。
0:08:13	解析モデルは、EL16.9メートルより上部の4階の壁及び天井スラブ、柱梁をモデル化しています。
0:08:22	天井スラブと壁は積層シェル要素、
0:08:25	こちらと針はファイバー要素としています。
0:08:29	境界条件としましてモデルの下端であるEL16.9メートルの位置を固定条件としております。
0:08:36	43 ページをお願いします。
0:08:43	43 ページの方に、天井スラブに対する荷重ケースと、地震荷重の算定について記載しています。
0:08:51	次の 44 ページに、天井スラブの解析モデルの固有値解析結果をお示しし、
0:08:59	45 ページの方に、固有モード図をお示しています。
0:09:03	ここで1点ちょっと資料の修正がございます。44 ページ、表 4-16 に固有値解析結果をお示しておりますが、振動数と周期のところ、単位を記載しておりませんでした。
0:09:16	振動数はヘルツ周期は秒で記載してございます。次回訂正いたします。
0:09:24	43 ページ戻っていただきまして、
0:09:27	A、B通りより南側の天井スラブにつきましては、保有振動数が 7.69Hz と、20Hzを下回ることが確認されたため、
0:09:36	46 ページにお示しする地震応答解析結果、
0:09:40	地震応答解析でられた鉛直方向の加速度応答スペクトルより、
0:09:46	3次元FEMの固有振動数に相当する加速度から鉛直震度を設定いたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:52	47 ページの表の方に、算定した鉛直震度をお示ししています。
0:09:59	なお北川の天井スラブにつきましては 20Hzを上回るため、最大応答加速度より振動を設定いたします。
0:10:08	57 ページをお願いします。
0:10:14	こちらに断面の評価方法をお示ししています。天井スラブについて、SD地震時には 57 ページをお願いします。
0:10:23	こちらの断面について、これは鉄筋の引張応力度、年来せん断力が許容限界を超えないことを確認いたします。
0:10:30	Ss地震時に対する評価では、塾力及び曲げに対しては、鉄筋とコンクリートのひずみが許容ひずみを超えないことを確認します。
0:10:37	面外せん断力に対してはRCN基準に基づく許容面外せん断力を超えないことを確認いたします。
0:10:45	評価結果のほうを、67 ページ以降にお示ししています。
0:10:51	67 ページ、こちらSD地震時ですが、検定値が最大となった要素の 1、それからその要素における評価結果をお示ししています。
0:11:01	続く 68 ページに同様にSs地震時に対する評価結果をお示しています。
0:11:07	いずれの部位においても発生値が許容値を超えないことを確認いたしました。
0:11:16	この資料の 72 ページ以降は、中央制御室バウンダリの評価について記載しているものになります。
0:11:23	先ほどの中央生活遮へいと異なる部分を中心にご説明いたします。
0:11:29	86 ページをお願いいたします。
0:11:34	26 ページに、中央制月バウンダリーの応力解析における、許容限界をお示ししています。
0:11:41	気密性の要求機能がありますので、短期許容力度を許容限界としています。
0:11:50	続いて 105 ページをお願いします。
0:11:56	こちらが評価結果として検定値が最大となった要素の 1 をお示しています。
0:12:03	この要素 1 につきましては右上にキープランでお示している通り、AB 通りより南側が中央制月バウンダリーとして設定されている天井スラブですので、Bドルより南側の範囲で検定値が最大となった要素をお示しています。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:19	続く106ページに評価結果をお示しておりますが、いずれの部位も発生時が許容値を超えないことを確認しております。
0:12:29	続いて資料12番、補足説明資料のほうをご説明いたします。
0:12:35	12番補足説明資料の35ページをお願いいたします。
0:12:43	35ページ以降に、別紙2としまして、制御室建物天井スラブの応力解析における壁の健全性についてという資料を新たに追加しています。
0:12:54	37ページのほうに概要をお示しておりますが、
0:12:58	耐震計算書において天井スラブの評価として、壁も含んだ範囲で、3次元FEMによる評価を実施しておりますが、本資料ではそのモデル化した壁の健全性についてご確認したものになります。
0:13:12	42ページをお願いいたします。
0:13:16	こちらが壁のSs地震時の評価結果となります。
0:13:21	いずれの部位においても発生住宅用地を超えないことを確認いたしました。
0:13:28	また、本日、清中央生活者への関係として資料13番計算機プログラムの概要をご説明、ご提出しております。
0:13:38	こちらは3次元フレームによる解析に用いたプログラムである、解析コードFinalの概要を記載したものです。説明のほうは省略させていただきます。
0:13:48	中央清潔再編に関する説明は以上となります。
0:13:53	はい。規制庁チギラです。それでは今説明がありました、中央制御室遮へいに関して確認するための方お願いします。
0:14:08	規制庁のミウラです。3次元クマガイ山
0:14:13	中央制御室のいや天井スラブってのは非常に暑くてですね、それを支持する壁が薄いということで、
0:14:21	実際の応力状態を作るには、3次元のFEMでやるべきじゃないかという話をさしていただいて、添付資料もすべて直していただいたということで確認をしました。
0:14:32	ただちょっと一つだけ確認をしておきたいんですが、資料、
0:14:37	11番の86ページ。
0:14:44	その表の8-2なんですけど、
0:14:49	応力解析による評価における許容限界ということで、
0:14:54	気密性に関して天井スラブ、
0:14:57	これは基準地震動Ssに対して、
0:15:01	RCM基準も得短期許容応力度ということになっていますが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:07	先ほどのご説明でSsに対しては、CCV規格を持っているんじゃないかなかったです。
0:15:18	中国電力の仲村です。都政月建物の天井スラブにおいては範囲に応じて
0:15:24	今日、経営限界を使い分けております。気密性が要求される中央制御室バウンダリーにつきましては、短期を限界としております。
0:15:36	一方で、衛藤気密性が要求されない遮へい性能のみが要求される範囲、こちらは
0:15:42	天井スラブでいうと、北側のエリアになりますけれどもそちらについてはCCV規格で、鉄筋とコンクリートのひずみ、3000万から5000マイクロを許容限界として設定しております。以上です。わかりました。
0:15:54	北川のスラブは、CCV規格に基づいて、
0:15:59	南側のスラブに関しては、
0:16:03	短期でやってるってそういう理解でいいですか。
0:16:06	はい。中国電力の仲間ですはいご理解の通りです。はい、わかりました。一応中身を確認いたしましたこれで私は結構です。はい。
0:16:23	規制庁植木です。
0:16:26	資料11の46ページ、通しの46ページお願いします。
0:16:35	ここに床宇都スペクトルが出てます。
0:16:39	それで
0:16:42	3月29日貴殿、ヒアリングでですね、中央制御室天井照明、
0:16:49	等の
0:16:51	波及的影響の検討で、
0:16:56	設備それらの設備の入力食うとしてですね
0:17:03	天井が一応中なので、
0:17:05	床音スペクトルから求めた。
0:17:10	年、震度を使う。
0:17:12	使っているという説明があったんですけど、それはこの46ページにある、床応答を、
0:17:21	用いたということよろしいでしょうか。
0:17:27	中国電力の仲間です。はい、ご認識の通りです。以上です。
0:17:31	規制庁、大池です。はいわかりました。
0:17:34	それからですね43ページ当初43ページで、
0:17:41	下から4行目で、材料物性の不確かさを考慮した地震応答解析結果を包絡した。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:48	ものをするものとするということになっていてと書いてあって、
0:17:54	46 ページのFRS。
0:17:58	タイトルを見ると計算というふうになってるんですけど、
0:18:05	これは決算で 13 ページ後次、地盤の σ でしたっけ、そのケースだと思ってるんですけど、
0:18:15	崩落っていうのは、全ケースやって崩落、
0:18:20	するというようなことはやらやっているんでしょうか。
0:18:28	中国電力の仲村です。はい。こちらにつきましては天井スラブのこういう周期である 0.130 秒におけるスペクトルの値が一番大きくなるものとして、
0:18:39	この基準地震動 S_s-D のケース 3 を掲載しております。他の波ですかケースにつきましてはこれより下回ることを確認しております。
0:18:49	ということで崩落した大分ご理解いただいて問題ないかと思えます。以上です。
0:18:54	規制庁池戸はいわかりました。
0:18:57	ちょっとその旨をですねちょっと 43 ページのところにちょっと書いて、
0:19:03	いただかないと、多分なんか 46 ページ G の図だけを見ると、決算、
0:19:11	だけのような気もしてしまうので、ちょっと補足記載いただけないでしょうか。
0:19:22	中国電力の仲村です。承知いたしました。
0:19:25	規制庁大江ですはい。よろしくお願ひします。それから、
0:19:30	同じく 46 ページのFRSの、
0:19:34	図のタイトルで失点番号 1 って書いてあるんですけど、これは、
0:19:40	どっかに、
0:19:41	モデルが示されているんですけど。
0:19:50	中国電力の仲村です。20、例えば 28 ページ。
0:19:55	の方に、連携モデルのモデル図をお示しております。こちらの支店番号一番となります以上です。
0:20:04	規制庁駅です。わかりました。これは失点系のモデル、支店番号。
0:20:18	ですか。これ、このFRSっていうのは、
0:20:23	この 3 次元FEMのモデル。
0:20:28	の運営とFRSというは、どっかの接点のFRSというわけではなくて、
0:20:37	あれ何でしたっけ入力 1、ごめんなさい。ちょっと勘違いしてました。FM でこういう一時こういう集計を求めてそれで出展番号 1、
0:20:48	FRSの当該周期の加速度を読み取ったっていうことですね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:56	中国電力のナカムラですはい。その通りでございます。以上です。規制庁植木です。はい。理解しました。
0:21:03	それから、
0:21:06	ちょっと設備側の話になってしまうんですけど、ちょっと確認ですけど、
0:21:12	前回の
0:21:15	ヒアリングで、中央制御室の天井にある幾つかの設備、
0:21:21	のうん、ダクトなんかもあるんですけど、これらは、
0:21:26	すべて、ちょっと設備側の設計の話になるんですけど、すべて5であるということでもよろしかったでしょうか。
0:21:43	はい中国電力の石丸です。東郷ニシノ通りすべてゴコウとなっております。以上です。
0:21:49	規制庁池戸はいわかりました。それからですねちょっと長くて申し訳ないんですけど
0:21:55	29日のヒアリングの中で、一応天井ちゅ中央制御室の天井の
0:22:05	そういう設計を振動ですか、について、
0:22:10	FRSの作成方針の図書の中に反映する。
0:22:16	というお話があって、
0:22:19	震度の中に、ここで求めた震度を入れるんだと思うんですけど、
0:22:26	ですね。
0:22:28	現状医師。
0:22:31	質点の床音スペクトルっていうのはFRSの作成方針に載っている、天井のですねF、それは載っている。
0:22:43	んでしたっけ。
0:22:50	中国電力石丸です。取り込むとすべての策定方針に、実験番号一井ニイズオダ。城野深尾とスペクトルも記載しております以上です。
0:23:00	規制庁池ですわかりました。そうすると、今回その後任の申請範囲で、
0:23:11	示されている、
0:23:14	設備に関してはすべて5なので、
0:23:18	今回求めた。
0:23:20	最大加速度床応答の最大加速度。
0:23:24	を使用するということで問題ないと思うんですけど、
0:23:28	今後ですね、例えば、
0:23:31	改造なんかで、天井に、
0:23:34	何か設備を入れたときにそれが10な場合っていうのは、
0:23:39	その下、失点の1の床応答スペクトルを使う。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:45	てしまうと、ちょっと床の
0:23:49	面外振動が考慮されないような床を藤スペクトルになってしまうと思うんですけど、
0:23:55	その点はいかがでしょうか。
0:24:03	はい。中国電力内村です。はいご認識の通り、重要な設備になりますと、工認、
0:24:10	6日をとってると策定方針に、
0:24:12	ついてる深度で設計したら、課長評価になってしまうというその通りだと。
0:24:16	思いますが現状、そのような設備はないと。
0:24:20	いう古藤。
0:24:23	はい。今後の
0:24:27	この辺りは買おうとSURCスペックの策定方針2巻すん注意事項的な記載。
0:24:35	した方がいい。
0:24:37	かなというふうに思いましたがいかがでしょうか。
0:24:40	規制庁植木です。今、石丸さんがおっしゃった通りだと思ってまして、注記です、この床応答スペクトル視点1の床応答スペクトル2、
0:24:53	真壁壁から支持されるようなものはいいんだと思うんですけど、天井から支持される。
0:25:00	ようなものについてはこの床応答スペクトルは使用しないっていうようなことを、注書きで、
0:25:07	書いておいた方が間違いがないのかなと思ったんですけど。
0:25:12	いかがでしょうか。
0:25:20	はい中国電力石丸です。記載についてははいちょっと持ち帰って検討したいと思います。以上です。
0:25:28	規制庁植木ですはい。よろしく検討をお願いします。私からは以上です。
0:25:39	はい、規制庁チギラれず、
0:25:41	修正技術、
0:25:44	の立ち上げについて他に確認するとある方はいらっしゃいますか。
0:25:49	よろしいですかね。
0:25:51	はい。
0:25:52	それではちょっとこちらが実績者、という理解がありますので、ここで一旦録音を停止いたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:03	はい、規制庁チギラです。それではヒアリングの方を再開いたします。では次の説明の方をお願いします。
0:26:13	はい。中国電力の小玉です。
0:26:15	それでは強度計算書の火山関係について、
0:26:19	コメント回答をさせていただきます。
0:26:24	資料の一番の 1 ページをお願いします。
0:26:34	こちら設置許可は、
0:26:36	設置変更許可審査からの申し送り事項として、
0:26:40	ナンバー145、屋根スラブに関する評価のうち、
0:26:43	制御室建物について、本日ご説明いたします。
0:26:48	2 ページをお願いします。
0:26:53	回答整理表のNo.5 になります。こちらについて回答します。
0:26:58	制御室建物の屋根スラブの評価につきましては、
0:27:02	3 次元FEMモデルによる評価結果を踏まえ、
0:27:06	より実情に近い 3 次元FE。
0:27:09	円モデルにて評価する方針に変更することとしまして、その評価内容を、
0:27:15	制御室建物の強度計算書へ反映いたしました。
0:27:21	反映した内容につきましては、前回ヒアリングで補足説明資料によってご説明した内容となりますので、詳細は省略いたしますが、
0:27:32	資料No.5 になります。
0:27:37	ナンバー5-13 ページ以降になりますけども、こちらに 3 次元
0:27:42	FEMモデルによる応力解析について、記載を追加いたしました。
0:27:50	続きまして 23 ページ以降に、
0:27:54	その評価結果について記載を追加いたしました。
0:28:00	はい。ナンバー5 の回答は以上になります。
0:28:06	はい。木曾イトウ朗れず、ナンバー5 の回答内容について、
0:28:13	はい。こちらの内容で結構ですので、了といたします。次の説明をお願いします。
0:28:22	はい。中国電力の小玉です。
0:28:25	それでは資料ナンバー1 の 2 ページ、お願いします。
0:28:29	続いて、ナンバー8、
0:28:32	について回答いたします。
0:28:34	こちらのコメント内容につきましては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:37	火山及び耐震におけるディーゼル燃料貯蔵タンク室の各部位の要求機能や評価内容について整理して説明することになります。
0:28:48	今回は、このうち火山評価に関する内容について、一部コメント回答いたします。
0:28:56	資料のナンバー8をお願いします。
0:29:04	8-13 ページになります。
0:29:09	こちらディーゼル燃料貯蔵タンク室の許容限界につきまして、
0:29:16	Bディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽、こちらに合わせまして、コンクリート標準示方書に基づく、
0:29:23	値に見直しを行っております。
0:29:27	はい。こちら、No.8 の回答は以上になります。
0:29:33	はい。規制庁、吉良です。今の説明に対して確認する点ある方。
0:29:40	と、
0:29:41	今説明いただいたのは、あくまでも教育委員会だけであってこの回答にあるようにそれ以外については後日ということで、そういった
0:29:52	ところでよろしいですか。
0:29:57	はい。中国電力の小玉です。はい。衛藤。
0:30:01	耐震関係につきましては、江藤、後日別途説明ということでさせていただきたいと思います。火山関係につきましては、この回答をもちまして、
0:30:14	すべて該当ということで考えております。
0:30:19	母ちゃんって、教育委員会だけしかかわらない。
0:30:23	です。
0:30:26	大臣と、
0:30:28	今日、強度の強度で、
0:30:31	要求機能とか必要がないよとかっていうのを、
0:30:35	関係するところって出てこないんですかね。
0:30:47	中国電力の小玉です。
0:30:50	衛藤。
0:30:52	今の耐震の方は、要求機能を整理して、その評価の、
0:30:56	対象について、改めて整理整理をさせていただいておりますけども、火山の方につきましては、
0:31:03	現状、方針庁でまとめてます評価対象施設は、燃料補正を考えておりますので、
0:31:13	この評価での回答と考えてます。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:50	すいません。衛藤Kは、火山に関係するものとしては今までやっていた評価の部位で網羅されていて、このコメントに対しては
0:32:03	許容限界だけ、前回いうと、ちょっと建築と土木がちょっと混在していたのでそこを統一しました。
0:32:11	という内容でよろしかったですか。
0:32:15	はい。中国電力の小玉です。そのご理解の通りでございます。以上です。
0:32:24	そうするとちょっと、この
0:32:27	1、
0:32:28	一番の資料のコメント回答の書き方がですねちょっとここちょっと、
0:32:34	そ、そこだけちょっと書き直してもらった方がいいかなと思います説明いただいた内容は結構だと思いますけど、ここの解答欄の記載がちょっと、
0:32:43	今の説明とちょっと異なっているかなと思いますのでそこをちょっと適正化していただけますか。
0:32:52	はい。中国電力の兎玉です。はい、わかりました。回答の、
0:32:58	コメント回答整理表の回答欄につきまして、記載の方ですね。
0:33:03	修正、検討して、適正化させていただきたいと思います。以上です。
0:33:10	はい。
0:33:11	すいません。はい。よろしく申し上げます。
0:33:14	では回答としては了といたします。はい。
0:33:20	では適正化と、何か説明ありますか。
0:33:25	中国電力小玉です。
0:33:27	今回、適正化につきましては、誤記修正とか表現の記載の見直し等になりますので、
0:33:36	はい。説明は、こちらからはございません。以上です。はい、わかりました。
0:33:42	確認ですけど資料1の1ページのところの申し送り事項としては、これはもう
0:33:49	今回の説明で隊長としてはすべて説明があったと、いうふうに理解すればよろしいですか。
0:33:59	はい。中国電力小玉です。
0:34:01	はい。ナンバー145につきましては、こちらですべて回答済みとさせていただきたいと思います。以上です。はい、わかりました。はい。
0:34:10	ではそのように、整理したいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:15	よろしいですかね。はい。
0:34:18	それでは次の説明の方をお願いします。
0:34:31	すいません中国電力兎玉です。
0:34:34	火山関係については以上になりますので次は、土木関係にそうだと思います。はい。以上ではい。次の土木関係をお願いします。
0:35:07	はい。中国電力の高松です。それでは浸水防護施設の逆止弁の方に参りますので、ちょっと準備しますので少々お待ちください。
0:35:38	中国電力の率、
0:35:42	はい。
0:35:43	それでは逆止弁関連について説明させていただきます。
0:35:48	本日の資料No.20の方、
0:35:52	回答整理表の方ご確認願います。ページ、
0:35:56	13ページ。
0:35:58	のナンバーの093です。
0:36:01	こちら指摘はですね防波壁の強度を踏まえた打ち増しコンクリートの損傷モード及び、想定し得る作業荷重の考え方を整理した上で、
0:36:10	集水枡におきましてコンクリートの設計の考え方を説明することと。
0:36:15	いうご指摘をいただいております。これに対しまして瀬、
0:36:20	補足説明資料ですね、本日の資料の資料ナンバー22、
0:36:24	の方の回答、説明を加えております。ページがですね456ページ。
0:36:30	めくっていただきまして、
0:36:32	ここに採用課14.2歳オカ14.2.1歳オカ10の考え方と、
0:36:38	そしてページを追記しております。
0:36:41	採用数の考え方についてはですね、表4.2の方を見ていただきますと、
0:36:47	防犯機はですね、
0:36:50	この場合⑦を参考代表に整理しておりますけれども暴排か陸から海側に移動した時、
0:36:58	その時、修正マツノ法にはですね、ドアツアがかかります。で、
0:37:03	主、
0:37:05	集水枡につきましてはどう扱って取水路への慣性力、あと内町コンクリートの慣性力、こちらが働いて
0:37:13	内町コンクリートのをアンカー機の方に採用してくるといようなモデルで考えております。
0:37:20	またこのときですね、考える荷重としてはですね、
0:37:24	そちらがここの中なんですけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:30	はい。
0:37:32	ドアツーの方ですね。ええ。
0:37:36	基準地震動Ssの中で最大の動圧の値を用いて、
0:37:43	数字を計算しております。
0:37:49	以上で、甲斐コメント回答の
0:37:53	このように整理してございます。
0:38:01	はい。説明以上ですか。はい。
0:38:04	はい。はい。以上です。
0:38:09	規制庁の江崎です。
0:38:11	あのね、450、もともと主旨ってコメントして、457 ページの表 4-2 に示している状態。
0:38:21	地震を左右交番でかかるので、
0:38:24	そもそも今後出してみると、
0:38:26	気にしてると、逆方向立候補に動いた場合、
0:38:31	例えば河内町コンクリートもそうだけど、
0:38:34	施設集水枡もギロチン状態になっちゃうんですよね、改良地盤によって。
0:38:41	そういったことは、
0:38:43	設計として、想定するのかわからないのか、だから実海に変形した場合と、加速度が変わってる場合自身が、
0:38:54	が作用してる場合と、陸側が変わってる場合で、
0:39:00	いわゆるこの逆TウエキのところのFLIPの解析結果って、
0:39:06	比較的変位だとか速度って
0:39:09	海側の方にユリ動いたときよりも、陸に動いた方が、浦が液状化してるっていうことが、
0:39:16	でですね、厳しい。そっちの方が変形モードとしては厳しいっていう、
0:39:21	話があったので、
0:39:23	いわゆる
0:39:25	打ち増しコンクリートがと、後打ちコンクリートなるんですけど。
0:39:29	それでそこはギロチン状態で切れちゃうと、取水松も炉心状態になっちゃうので、
0:39:35	でもそういうことにならないんですよねっていうことを確認した方が、
0:39:40	1点なんだよね。
0:39:42	だから、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:43	今の回答だとまずその回答になってなくて、でもよくよく考えてみると、ちゃんと説明すれば説明できんじゃないかっていうのがあって、
0:39:54	そもそも
0:39:56	逆T擁壁。
0:39:58	用地になるために逆で溶液の慣性力が、
0:40:02	底面、
0:40:03	だけじゃなくて比木せん断機のような状態になってるんで、現実的にはそんなのかもしれないけど設計状態設計としては、これがなくとも、
0:40:15	丁寧摩擦で、基本的には下は、
0:40:18	一体化している。
0:40:20	と考えてね設計結果としては、
0:40:23	それはなぜですかって言うと、協力なんか売ってるから、
0:40:26	ということを誤ってるんで、
0:40:29	例えば背計算で出ないんだったらちゃんとその辺の図を、逆に言うと陸側の方は、
0:40:36	このいわゆるね、
0:40:38	逆T擁壁防波壁そのものが、
0:40:43	改良地盤、
0:40:45	との境界面で活動しないっていう。
0:40:49	まず、
0:40:50	そういう結果になってんだよね設計結果ではね。だからそういった話からすると、
0:40:56	基本的には
0:40:58	陸、
0:40:59	海、どっち側でもそうですけどその活動したことによって、この千葉市コンクリートが集水柵に荷重は、
0:41:07	過剰にはかからないという前提になっているんだよね。
0:41:12	それで、今計算しているのは集水柵の慣性力と済ましコンクリートを、
0:41:17	局所的な慣性力だけをこのアンカーとかに作用させてるのは、
0:41:22	そういう前提があって、してますと。
0:41:25	いうことなのかな。
0:41:27	と今、勝手に解釈しましたけど、
0:41:31	それらが全然わかりません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:33	はい。中国電力の高松です。ちょっと説明がちょっと不足のところがありますところは、申し訳ございません。基本的に今、江崎さんにおっしゃっていただいた通りで、
0:41:45	防波壁の逆Tとですね下の改良地盤とですね、今回打ちました打ち増しコンクリートと言います。これは基本的に一体で挙動するってところの、
0:41:58	前提のように見えますけども、基本的にはそうそこも確認して一体で動くってところで、それはなぜかって何か言ってるからでしょ、アンカーでガッツリ。
0:42:09	押さえつけちゃってるから、そこで活動が起きないだけのソウダマツオこの打ち増しコンクリートのキーブロックせん断機を、
0:42:19	見なくたって、底面摩擦とが、
0:42:23	非常に大きくなるように、アンカーで補助していて、
0:42:28	活動することはないので、
0:42:30	5000 段後付のセンター機田内橋コンクリートですけど、そこに荷重が10月です。
0:42:38	かかることはない。
0:42:40	前提で設計されてるからってということなんじゃないの。
0:42:44	はい。中国電力の高松です今開設された通りです。
0:42:53	で、すいませんすますそれぞれも確認できて一体で動くので、陸から海に挙動したときの最大度圧ですね、時刻性を考慮しない
0:43:04	全般を越え全般での最大度圧を、藤真麻
0:43:10	と、
0:43:11	対応させるということで、このうち街コンであったり集水枡のアンカー設計をしているってところを、今回ご説明したところでございます。以上です。
0:43:21	中国電力清水です若干補足しますと先ほど竹越さんがおっしゃられた逆T擁壁というかそもそもこの家いつ寝坊廃棄の某廃棄の
0:43:32	構造があんかと、アンカ防波壁のアンカーと一体化地盤岩盤と一体化させているので動かないというのが前提にあるんですけど、今回設計を
0:43:42	そこについては今後記載させていただきたいと思います。で、今回設計しているのはですね最初はテラモトの方が申しましたけどちょっと説明が足りなくて申し訳ないんですけど、そうは言いながら、このええと集水枡にどういう力がかかるかっていうのを考えたときに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:57	この図の 4、457 ページの右側からコード圧というのをかけてます。これは何を取り出しているかというところの防波壁にかかるこの位置での、鉛直度圧分布というのをかけてます。
0:44:10	で、実際の設計としてはこれ陸側から海側に集水桝が話される方向の力をかけるのが我々としては最もこの
0:44:21	内町コンクリート 2 の鉄筋の引張にかかる力としては大きいものというふうに考えておまして、この右から左にかかるものを左から右に最大のを右から左にかけてですね、それで、
0:44:33	このうちマスコンクリートに、のアンカーの設計をしています。あとそのあたりがですね 456 ページの方に書いておりますけどそこもちょっとまいこと書けてないところもありますし先ほど最初に言いましたようにもともと、
0:44:47	もうそもそも動かないんだということも書ききれませんのでちょっとその辺り記載を充実させていただければと思います。市長の江崎です。問い合わせは何ですかというね。
0:44:59	損傷モード。
0:45:01	一応同定してって下で想定した上で、それに対する作用荷重の考え方。
0:45:10	という問い合わせになってるんでだから、としては基本的には、陸に動く場合、海も行く話があって、その中で、
0:45:19	こういうような判断基準で、片側だけ取りましたっていうのがその損傷モード。設計荷重の絞り込みの考え方だと思うんですよそこら辺をまず変えてくださいっていうのが問い合わせなので、
0:45:33	そその辺はちょっと意味合いをちょっとコメントの意味合いを理解してですね整理していただきたいなと思いますんで、そこは大体なんかわかりましたんで、
0:45:45	それはちょっとわかり図書としてわかるように、
0:45:48	記載の充実を図っていただければ結構です。
0:45:55	はい。中国電力の高松です。今いただいたコメントを踏まえてですね、記載の充実を図って、ご説明したいと思います以上です。
0:46:05	規制庁のハットリです私から何点か確認させてください。考え方については、何となくわかったんですけど、わかったようなわからないような感じなので、
0:46:16	もう少しだけちょっと確認をさせていただきたいと思います。
0:46:20	まず、ちょっと私もこれ、構造がいろいろと複雑なので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:25	まず週数末がなかった場合、要するに打ち増しコンクリートがあった場合だけやった場合でもこれ構造成立しなきゃいけないんですよ。
0:46:36	それを考えたときに、例えば、今の動解モデルにこの打ち増しコンクリートをビーム材でモデル化してやると、自動的にこう、
0:46:46	何かを、
0:46:47	貯めるが出てきて、曲げモーメントとせん断量が出てきて、それで評価すれば一番わかりやすいなどは思ったんです。
0:46:56	ただ一方で、そこまでしなくても、今のモデルで、
0:47:02	地盤改良体に接する面の、
0:47:05	節点力を出せば、
0:47:11	出してそれを作用力としてそれに作用させれば、同じような評価ができる。
0:47:17	ということで、こういうようなそのドアツーマイみたいな考え方を、
0:47:24	持ち出してきて、照査をしようとしてるといふような理解でよろしいですか。
0:47:35	はい。中国電力の高松です。すいませんちょっと1点確認なんですけど、今のそのドアつつを持ち出して設計してるっていうのは、その集水ますではなくて、打ち増しコンクリートのこと。
0:47:51	言われてますか。規制庁ハッタですから結局、打ち増しコンクリートに対する作用力としては、ドアと慣性力を作用させてるんですよ。
0:48:01	なので、修正マツノ慣性力と、打ち増しコンクリートの慣性力と動圧を作用させていて、
0:48:09	集水柵がもしなかったと仮定すると、打ち増しコンクリートの慣性力と動圧だけになるんですよ。
0:48:16	そういう意味での動圧と言ってます。
0:48:21	はい、中国電力ヨシツグでございます。畠さんご認識の通り修正マークがない場合、
0:48:26	はですね、今の457ページのところの集水柵を、をなくして本当は改良地盤があるんですけども、我々としてはその改良地盤の外側の埋め戻し胴の、
0:48:38	ドアツ一部分と、
0:48:39	うちマスコンクリートにかかる慣性力、これを二つをもって設計するという思想になっております。以上です。規制庁の服部ですわかりました。その上で、先ほど江崎から話があったように、地震なので、左右交番。
0:48:55	のす荷重がかかるんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:57	ここに出て来てる最大の動圧分布というのは、
0:49:02	右と非採用の交番を踏まえて最も大きい動圧をここに書いてるということによろしいですか。
0:49:12	はい。中国電力の高松です。今服部さんにおっしゃっていただいた左右交番の再度圧をかけているということです。以上です。規制庁のハツリですはいわかりました。
0:49:23	その時
0:49:27	動的解析における、
0:49:30	防波壁と地盤改良と、あと地盤の変形としては、
0:49:36	防波壁等地盤改良は海側に変形しているということによろしいですか。
0:49:45	はい。中国電力の高松です。おっしゃる通りで、海側に変形している時が最大ということで間違いございません。以上です。規制庁服部ですだからあれですね左側に防波壁とか地盤改良が変形してる時の、
0:49:59	荷重もこの最大動圧に含まれているということで、包括的に設計をしているということで理解をしました。
0:50:09	そういう意味で、
0:50:14	両方との交番を考えてるんだということで理解をしました。
0:50:19	ちなみに、
0:50:21	ちなみにはいいですねそういうことでそういうことで基本的な考え方としてはよくわかりました。
0:50:29	私としてはどういうふうにかかっているかというのはわかりました。ただ一方で先ほど江崎もからもありましたように、その破壊メカニズムとかそういうものも踏まえた上で説明してくださいねということで、
0:50:40	ですのでそこら辺も含めてわかるようにしていただけるんだというふうに理解をしています。それは適正化課になるのか、高齢の継続になるのかちょっとわかりませんが、
0:50:52	そこら辺を考えていただくとして考え方としては理解をしました。
0:50:57	細かい話ですけど先ほど志水さんからもちょっと話がありましたように、
0:51:03	鉛直度圧分布という表現をしました。
0:51:06	この鉛直度圧分布というのはどういう意味を言ってるんすか何となく水平度圧分布のような気がするんですがいかがですか。
0:51:16	はい。中国電力の高松です。こちらのちょっと鉛直という表。
0:51:22	中国電力です。
0:51:29	中国電力の高松です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:33	規制庁の服部です。すいません、コンコン混戦してるようなのでちょっとどっちかがしゃべってくださいどうぞ。
0:51:42	はい。
0:51:48	はい。鉛直という記載は誤りでして、水平方向の動圧分布ということで、記載は適正化させていただきます。以上です。安城市長の服部ですわかりました。
0:51:59	それでね、
0:52:01	次の話があるんですけど、
0:52:04	そういうふうにも、窓圧分布、最大のも厚分布最も保守的な動圧分布をだして、
0:52:11	あと慣性力も内町コンクリートの慣性力も保守的な慣性力をだして、
0:52:18	その慣性力と粗度圧分布が、
0:52:22	どういうプロセスで、
0:52:24	PV6、458 ページのTVA等、
0:52:28	PV7。
0:52:30	オカ 12。
0:52:31	置きかわっていくのかというのは、どこを見ればわかるんですか。
0:52:43	中国電力の高松です。少々お待ちください。
0:53:07	中国電力の寺本です。
0:53:11	TV6 とTV7 の計算につきましてはですね、本編の方ですの方で計算をして、
0:53:19	アンカー金の、
0:53:21	応力ということで計算をしております、ページで言いますと、
0:53:30	387
0:53:32	388
0:53:34	ですね 387 号に引張力の方が小冊子が出てますけれども、
0:53:39	この照査値を出す中で、ATV6T7 の計算をしております。
0:53:46	以上です。
0:53:48	規制庁の服部です少し説明がわからなかったんですけど、
0:53:53	今ほどの
0:53:56	今ほどのその 387 っていうのは多分この資料、
0:54:01	22 の 387 ということでそこに照査値が出てますよっていうことなんでしょうけど、
0:54:08	ごめんなさい。
0:54:13	この日、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:16	作業引張力、
0:54:19	下は、だから、
0:54:25	中国電力の高橋有賀は、
0:54:29	すいません、363 を見ていただいてもよろしいですか。
0:54:42	はい。アンカー金の評価ということですね、評価方法について、363 でご説明させていただいております。で、303 でご説明させていただいております。
0:54:56	申しました通り動圧分布とですね、あと集水柵これの慣性力、これを大田市最大を出し合って全国見て最大を出してやって、この勢力
0:55:08	のアンカーにとって最も厳しくなるように、右側ですね、363 というところの右側、海側に向けて、管理課、
0:55:19	流動して作業をさせていただいて、アンカー期ですね、フーチングの横についているイメージ図を出しますけど、このARM町に依じて、3 課金NIL II F-III、
0:55:29	この設計をしてやるっていうところにしますけど、というところになります。防波壁に固定するアンカー金の設計の考え方でして、
0:55:39	一方で 458 ページ。
0:55:45	こちらのですね、図の 4-2-(1)を見ていただくと、ちょっとこの局所的な図にはなりますけど、さっきのフーチングのこの下のところのうち益子のところですね。
0:55:57	コピーだと、保守的になりますけど、そのところですね、富田拡大図で PV6tVなんていうのがありますけどこれも同じように打ち増しコウノところに、海側に荷重をさせて、
0:56:09	作業させていると。で、こういった荷重を作用させて今度は防波壁のフーチングの下端のところに設置してあるうち益子のアンカー金を設計してやるっていうことで、
0:56:19	基本的には最大度圧と最大慣性力を使って、海側に作用させてやって、この防波壁固定する集水柵のアンカー金であったり、
0:56:30	大内益子のアンカー金であったりを、設計しているというのが、設計の考え方としてご説明させていただいております。以上です。
0:56:39	規制庁の服部ですわかりました。
0:56:43	だから、
0:56:46	今の話を総合すると、
0:56:49	左右項番の方向にかかわらず最も厳しい動圧オダして、あと慣性力を出して、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:56	それを左右方向にかかわらず、最も厳しくなる方向に作用させて、
0:57:06	このページの 363 ページのモデルで、
0:57:11	アンカー金の、
0:57:13	引張力P1P2P3 を出していると。
0:57:17	ということで、たまたまこ 458 ページにきある。7 番の集水桝は、P1 とP2 しかない、ピーチとP2 しかない。
0:57:31	ということなんでしたっけ。それで良いですか。
0:57:37	中国電力の高松です。
0:57:41	そうですね 458 ページのところ、どう見ていただくのがいいかというです、刀禰ちょっと戻っていただいて、454 ページがわかりやすいかと思
0:57:55	こちらの⑦のですね、アンカーを売ってる局所の拡大図になる、なるほどですね、パッカーをこれでいうと、フーチングの横にですね、
0:58:07	PVワンからPVA6 までですね、6tなんか金を水平方向に売ってますんで、うち街コンに対しては、その下にですねPV6t分になっておりますけど、
0:58:18	もう 2 本のアンカー金を打ってます。で、鉛直方向に打ってあるアンカー金は、その横に出てますけど、TワンTⅡTⅢということで、
0:58:28	鉛直方向に売ってますんで、それぞれですね、さっきの 300、ここに打ってますんで、すごく
0:58:38	注水マツノアンカー金であれば、
0:58:44	363 ページのですね。
0:58:46	図の 8-4 にあります通り、ちょっとこれ、概念図がPRPPⅢの概念図になってますけど、町歩のところに計算原点を置いてやって、アーム長に応じた、
0:58:58	力の振り分けをして、麻生荷重に対してもつような、アンカー仕様にしてあるんで、T458 ページのところであれば、
0:59:08	その辺のところであれば、その
0:59:13	内見込みを打ってある残りのアンカー本数の力が水平方向にPV6TB だなんていう形で、当間先ほどの最大荷重最大慣性力から振り分けられる成分が水平方向にかかるという荷重設定になっているというところ
0:59:28	です。以上です。
0:59:28	市長のハツリですはい。わかりました。あと最後 1 点だけ確認させてください。
0:59:32	この計算原点というのがここに出てくるんですけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:36	この計算原点というのは、例えば 454 ページの 7 番で見ると、
0:59:44	これはあれですかね、アンカー金を、を考慮した打ち増しコンクリートのズシンになるんですかこれちょっとズシンとも思えないんだけど、
0:59:57	計算原点ってどういうふうに設定してるんですか。
1:00:02	はい。計算原点はですね。中国電力の寺本です。計算限定なんですけれども、
1:00:09	対処するアンカー金ですねこの場合だと、TワンピースDスリー。
1:00:14	この場合をなるべくですね、
1:00:19	距離が離れるような方向というところで、この場合はですね、⑦の場合は、
1:00:28	内マスコンクリートの幅線に、
1:00:31	集水柵、
1:00:33	の壁の厚さ 500 を足しまして 1500 の真ん中のところを計算原点として考えております。
1:00:41	以上です。
1:00:56	規制庁の服部ですわかりました。ちょっとこちらでも話をしてどこでもよくて結局は、つり合いを、
1:01:03	のモーメントをどこで、原点にして
1:01:07	作業量か採用力を見るかっていうだけで計算結果はどこにしても一緒だということで、
1:01:14	すのでわかり考え方はわかりました。
1:01:20	なので一応イワタCがちょっと気にしていたことは今回は解消されましたので私はこれで結構です以上です。
1:01:36	規制庁の矢崎ですけど、一応ですね継続という形で、
1:01:41	一応わかりやすわかんない。もう少しコメントに対してちゃんと回答した形で、
1:01:47	資料を 1 と、
1:01:49	適正化してもらえばいいと、適正化のコメントを残す量はそのまま継続って形で、適正カーの部分がちょっと残っているということで、
1:01:58	もう一度お願いします。
1:02:02	はい。中国電力の高松です。冒頭、江崎さんからいただいた指摘を踏まえてですねわかりやすさを拡充する観点で記載を充実したいと思います。以上です。
1:02:13	はい。それじゃ吉良です。はい。それでは継続ということで、よろしく申し上げます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:18	では続いて、
1:02:20	回答。
1:02:23	以上ですかねと、適正化とかあと新規の説明するものがあればはい、お願いします。
1:02:29	はい。中国電力の高松です。コメント回答は以上になりますが、何点かちょっとお伝えしたいところがございますので、この後、適正化でご説明させていただきます。
1:02:44	はい。それではお願いします。
1:02:48	はい。中国電力の寺本です。適正化の箇所を説明していきたいと思えます。
1:02:54	資料ナンバー22。
1:02:57	ページの28、22ページ、こちらの方ですね、
1:03:04	集水柵の設置状況、防犯域との関連性とわかるような図を上の方に、図2-2の(1)、他の図に対しても、
1:03:15	どうぞ上の方に委員の方にですね、(1)の方に図の方を追加しております。はい。続きまして、
1:03:24	はい。はい。
1:03:26	続きまして、
1:03:28	ちょっと、
1:03:30	はい。はい。
1:03:31	すいません。
1:03:33	どうももう1回、
1:03:35	説明いたします。
1:03:39	通し番号、28ページ。
1:03:43	の、
1:03:47	逆止弁の構造概要図に、
1:03:50	今まで載せておったんですけども、その上にですね、逆止弁が防波壁にどのように設置されているかということがわかるような図のほうを追記しております。
1:04:01	こちらすべての逆止弁について、
1:04:04	記載をしております。
1:04:08	続きまして、ページ番号41ページをご覧ください。
1:04:14	こちらに逆止弁の構造概要図、説明図のほうを記載しております。
1:04:22	これ設計が進んだところで今回逆止弁の周り、設計と当たる部分。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:33	こちらの部分を 1 万板で製作することになりましたのでこの図を差し替えさせていただいております。これが、丸型ですね逆止弁についてすべての図、修正しております。
1:04:45	続きまして、
1:04:47	ページ番号。
1:04:50	312 ページの方をご覧ください。
1:04:53	今回
1:04:56	誤開する逆止弁のナンバー⑨の部分の設計震度が固まりましたので、こちらについて計算結果の方を追記しております。
1:05:07	これがページ 312 ページ、300、
1:05:11	13 ページになっております。
1:05:16	いずれも、本田委員
1:05:19	清館が 1 位、
1:05:22	未満であることを確認しております。
1:05:25	続きまして、ページ 381 ページの方をご覧ください。
1:05:30	こちらが集水柵に関するナンバー9 の、
1:05:34	設計地震動が固まったことによる、数字の方、出してあります。これ 381380 人。
1:05:42	それから、
1:05:45	384385 ページの方になっております。こちらについても、小冊子の方が 1 未満であることを確認しております。
1:05:56	続きまして、
1:06:00	これ自体、以上です。はい。
1:06:08	はい。白戸井浦です。それでは今説明があった適正化に関連して、
1:06:16	よろしいですか。はい。
1:06:18	では衛藤倉橋入口弁については以上でしょうか。
1:06:23	はい。中国電力の高松です。逆止弁については以上になります。
1:06:28	どうぞ。
1:06:29	わかりました。それでは次の
1:06:32	説明の方お願いします。
1:06:39	中国電力の福富です。
1:06:41	前回のヒアリングでいただきましたコメントの適正化内容につきましてご説明させていただきます。
1:06:48	資料番号 20 の 16 ページをお願いします。
1:06:54	こちらから 4 行目のNo.1666 の内容につきましては、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:00	水密試験について、試験状況を示すとともに、基準津波襲来時の漏水量の想定について記載を追加させていただいております。
1:07:11	資料番号 22、通し番号 14 ページをお願いします。
1:07:20	3-1、下側に防波扉みやげ場ミナミの透過モデルを記載しております。
1:07:26	生物試験で模擬した範囲を赤く枠で囲っております。
1:07:33	通し番号 16 ページをお願いします。
1:07:39	図の 3-3 に、防波扉に揚場ミナミの実機水密ライン長を記載しています。
1:07:45	レール横断部となる区間及び区間Cの部分を、オレンジ色で表記しております。
1:07:52	全体の漏水量は、区間Aから区間Dの測定値を、各区間の延長に応じた上で、
1:07:59	檀さんして算出しております。
1:08:03	通し番号 17 ページをお願いします。
1:08:07	図 3-4 の右下に、試験状況の写真を示しております。
1:08:15	試験時間 10 分間当たりの角管の漏水量は、区間Aのレール横断部で 47 リットル
1:08:24	分Bの一般部で 0.2 リットル、
1:08:27	部分椎野レール横断部で 72 リットル、
1:08:31	オンリーの側部及び北極分で 0.2 リットルでした。
1:08:37	レール横断部となる区間、及び武漢市から若干の漏水が確認できるものの、チームとラインの大半を占める一般部及び側部からの漏水をわずかであることを確認しました。
1:08:52	漏水量は、容量推移を下回っておりますが、レール横断部から若干の漏水が確認されたことから、念のため、基準津波襲来時の漏水量の想定をしました。
1:09:04	通し番号 19 ページをお願いします。
1:09:10	対上昇側の基準津波における和田に湾内の最大水位上昇分分布図を図 3-5 に示します。
1:09:20	防波壁における入力津波高さは、基準津波 1、防波堤なしにおける最高水位地点での、
1:09:28	水位を一律の入力津波高さとして設定していますが、
1:09:34	は扉に言えばミナミ及び防波扉、3 号機東側の設置には、いずれの基準津波も到達しないことを確認しました。
1:09:44	通し番号 20 ページをお願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:48	防波壁津波最高値てにおける津波高さの時刻歴は形を図 3-6 に示します。
1:09:57	敷地に遡上する津波継続時間は、最大水位上昇時刻を含め 6 秒程度であることから、
1:10:05	本水密試験での漏水量評価は、実際の津波継続時間を考慮すると、100 分の 1 程度になると考えられ、
1:10:13	非常に断水を考慮した許容漏水量に対してわずかなろう通量であることを確認しました。
1:10:20	No.1666 に関する、
1:10:27	に関する説明は以上となります。
1:10:32	はい。衛藤。
1:10:34	では今の説明内容に対して確認するとある方。
1:10:39	よろしいですかね。
1:10:41	はい。オオハシですか。いいですか。はい。どうぞ。
1:10:45	資料の 18 ページのところ、
1:10:49	今回許容漏水量に対して、
1:10:53	実験の結果が小さかったという話をして展開してもらったんですけども、
1:11:00	10 年ぐらい前に JNES の方で、
1:11:05	防水扉の実験をやったことがありまして、その時、
1:11:10	大体 20 気圧、水深 20 メーターぐらいのところになると。
1:11:15	扉の周りのゴムパッキングの、
1:11:19	紺パッキンの変形が大きくなってそこから漏水量が急に増えるっていう、そういう現象が確認できたんですけども、
1:11:27	今回設計水深 6 メーター、6.15 メーターということで、
1:11:32	実際にその段階だと、漏水量も、
1:11:38	おそらく罰金に変形、大きな変形をすることなく、
1:11:43	小さな降水量で済んだということを確認してもらいました。以上です。
1:11:51	中国電力のセイキです。ご認識の通りだと思います。主系の方津波の高さ 6.15 メーターを再現したもので、実験しておりますのでご認識の通りで間違いはないかと思ひます。以上です。
1:12:06	はい、規制庁、大橋です。承知しました。
1:12:11	はい。
1:12:12	よろしいですね。はい。
1:12:15	では引き続き、説明の方をお願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:33	中国電力のセイキです。引き続き、千葉の姿勢の方説明させていただきます。説明者変わりますので少々お待ちください。
1:13:04	はい。すいませんお待たせいたしました。中国電力の伊澤です。
1:13:08	それでは地盤の支持性能についてコメント回答の方させていただきたいと思えます。資料番号 23 番、お願いいたします。
1:13:20	23 番の
1:13:25	6 ページ。
1:13:26	お願いいたします。
1:13:31	6 ページになりますが 49 番、審査終了部分的ではなく、審査項目の全体像を踏まえて資料取りまとめて説明すること。
1:13:39	てことで
1:13:40	2 月、
1:13:41	頃ですね
1:13:43	少しちょっとバラバラと御説明しておりましてそういったところで、
1:13:46	こういったコメントいただいておりました。今回ですねいろいろ審査いろいろ進んで参りましてそういったところ、
1:13:54	改めて、
1:13:55	取りまとめて参りましたのでこちらの回答としてご説明させていただきたいと思えます。
1:14:00	それでははい。
1:14:03	すいません。
1:14:09	では 24 番の資料、お願いいたします。
1:14:22	そうですねはい。
1:14:24	はいすいません。24 番、地盤の恣意性についての補足説明書になります。
1:14:29	こちらにつきまして赤くつけている解析用物性値が 2 ページ目になりますが、目次になります。
1:14:38	解析用物性値に関わるのところについて今回
1:14:42	取りまとめて参りました。
1:14:44	中身につきましてはこれまでの審査等でご説明しているところもありましたり、ちょっと誤記であったり、記載の統一だったりそういったところがございますので、
1:14:56	資料の詳細につきましてはかつ説明を割愛させていただきます。
1:15:01	一部す。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:02	3 ページ目になりますが、参考資料として 20 番、21 番を少し追加いたしましたのでこちらの方簡単にご説明をさせていただきます。
1:15:16	衛藤。
1:15:18	それでは、513 ページお願いいたします。
1:15:34	513 ページになります。参考資料 20、改良地盤の強度特性、
1:15:40	についてというところへなりましてこちらにつきましては、防波壁等の資料でおきまして
1:15:47	それぞれ改良地盤のですね引張試験である。
1:15:51	引張強度であったりり残留強度であったりそういったところの試験結果をそれぞれ載せておりましたが、地盤の支持性能の方についてもこちら、
1:16:01	取りまとめて記載をしております。
1:16:03	また、誤廃棄の方で、
1:16:06	一番の支持力の教授であるところにつきましてもその妥当性というところを説明をしております。
1:16:15	説明は少し割愛させています続きまして 548 ページお願いいたします。
1:16:27	548 ページ、参考資料 21、岩盤の引っ張り強度についてというふうになります。
1:16:34	こちらは防波壁の多重小口教育につきまして 3 番のご説明する際に、
1:16:41	説明した内容になります。
1:16:43	幅野。
1:16:46	引張試験を実施した箇所とその強度というところを実線のほうに取りまとめたというところになります。
1:16:52	そういう中、詳細は以上となります。こちらでコメント回答等になりましてこういったところ資料取りまとめて参りましたというところとなっております。
1:17:03	以上です。はい。規制庁、日浦です。
1:17:08	あと、コメントの 49 番については、
1:17:12	ちょっと取りまとめたということで、ちょっと確認なんですけど、今日取りまとめてもらったのは、解析用物性値関係で、
1:17:21	あともう一つのおっきな柱というかですね蓄水浸透流解析関係の話っていうのは、これはまた別途後日、
1:17:30	24 番の資料でいうところの 3.3 節とか、あと参考資料、
1:17:37	ていうのは、また、それはそれで説明というか取りまとめがあるというふうに理解すればよろしいでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:46	はい。中国電力のヨシツグでございます。ご認識の通りで、一度地下水はご説明したんですけれども、安全対策工事の掘削に伴う影響の部分を今再計算しておりますので、その結果を取りまとめまして、
1:18:00	また後日、ご説明させていただきます。以上です。はい、わかりました。もう一つ確認ですが、
1:18:07	これまで地盤の申請の補足説明資料をずっと説明していただいたんですけど、ふー資料については、審査、
1:18:20	東條に説明があつてそれからずっと説明が、調べたやつもないのかと思いますけど、
1:18:26	こちらについては、添付の方はいつぐらいに説明する予定ですか。
1:18:35	はい。中国電力のヨシツグでございます。そちらの方も遅れて申し訳ございません。4月の中旬には資料を作成してその辺りでヒアリングの方、
1:18:44	設定させていただきたいと考えております。以上です。はい、わかりました。
1:18:50	では、この49番についてはとりあえず、はい。分析については取りまとめたということでしたといたします。
1:18:59	はい。
1:19:02	それではこの他、あれですかね。
1:19:06	特に説明って適正化とかあつて、ここは説明するところとかがついているのがありますか。
1:19:13	はい。中国電力の伊佐です。地盤の支持性能に関しましてはこちらで説明は以上となります。
1:19:19	はい、わかりました。それではこちらの方から常に何点か確認する点がありますので、お願いします。
1:19:31	規制庁の服部です私から2点ほど確認させてください。
1:19:37	まず、資料番号24番の38ページをお願いします。
1:19:44	ここに
1:19:46	有効力解析に用いる埋戻り度だとか、そういうものの物性値が記載されています。
1:19:56	有効考慮解析に用いる埋戻りの物性値わあ、
1:20:03	この65ページを見る。
1:20:07	藤。
1:20:08	試験で求めます3軸試験で求めます。
1:20:15	ということがここで読めるんですが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:19	結果的にわあ、
1:20:22	これあれですかね、米印にあるように、
1:20:26	FLIP研究会、
1:20:29	の、
1:20:30	物性値を持ってきている、例えば今日例えば今日動特性なんか持って きてるといことなんですけど、
1:20:40	その強度を持ってきてるといようなプロセスは、どこを見ればわかるん でしょうか。
1:20:55	はい。中国電力の伊佐です。今、服部さんが言われたのは液状化パラ メータに関するお話でしょうか。
1:21:05	規制庁の八田です液状化パラメータもそうなんですけど、例えば強度 特性なんかも、文献からN値、
1:21:12	という抗力、郵送、有効上載圧による設定って書いてあって、
1:21:16	これも多分ふりん、これも、
1:21:25	その上の粘着力も絵の※1 がついてるのでFLIP研究会、FLIP研究会 じゃないですね。
1:21:32	これはFLIPの、
1:21:34	予測解析プログラム。
1:21:38	の港湾技研の資料から持ってきてるんですかね。
1:21:42	なので、この
1:21:43	資料の構成として、
1:21:46	まずは 65 ページにあるように 3 事故やってるんですよ。
1:21:51	その 3 事故やった結果、多分保守的な設定として、
1:21:56	後から、
1:21:57	求めたり慣用値を使いますといような流れに多分なっていて結果的に は、その結果、強度特性とか、
1:22:06	液状化と強度特性はこうですよっていうのがあって、
1:22:10	液状化強度特性については
1:22:12	ずっと聞いているのでわかりやすいんですけど強度特性なんかは、
1:22:17	そこら辺のプロセスってどこを見ればわかるんでしょうかっていう確認な んですが、
1:22:28	はい、中国電力の伊佐です。
1:22:31	はい。すいません。
1:22:33	理解いたしました。はい。
1:22:35	29 ページ、24 番シノ 29 ページをお願いいたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:48	こちらで
1:22:50	表 4.2-1 というところでですね階層解析物の詳細設定根拠というのがどこに記載されているかということをもとめているものがございます。
1:22:59	これにつきましてメモ度指導につきましては、
1:23:02	補足 020 安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件をもとにおける健全性に対する説明書
1:23:10	こちらで説明をしているというところでちょっと、となっております。
1:23:15	以上です。
1:23:18	あ、規制庁のハツリですわかりました。この補足の 023 の 0 一井にはそこら辺は下書いてないってことなんですね。
1:23:30	はい。中部電力の笹井、すいません。
1:23:32	少々お待ちください。
1:23:44	すいません、中国電力さんも申し訳ありません。金こちらの資料でちょっと液化化パラメータに関してこれ以降の 4.2 章で詳細にご説明させていただいてますけど、ちょっと今日特設につきましてはちょっとご理解の通りで、
1:23:57	F、ちょっとこちらの資料には書いていないという状況になっております。以上です。市長の服部ですわかりましたじゃまたそちらの方をちょっと私も確認をしておきます。
1:24:08	あと同じような形で、
1:24:11	42 ページ同じ資料の 42 ページに今度は全応力解析。
1:24:17	に用いる埋戻し信政治がここに出てきてるということで、これも設置変更許可申請書に記載されていない解析用物性値、
1:24:26	として出てきてると。
1:24:28	いうことだと思うんですけども、
1:24:30	これもう一応 3 軸試験、
1:24:34	緒方さん軸試験で設定したって書いてあるんですが、
1:24:38	これは、
1:24:40	どこを見れば、この大型 3 軸試験からどういうふうに物性値を設定したっていうのがわかる。
1:24:47	でしょうかどこを見ればよろしいんでしょうか。どうぞ。
1:24:51	はい。中国電力の伊佐です。こちらにつきましては、
1:24:55	主
1:24:56	に、参考資料 17 ということで
1:25:02	すいません。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:03	ページ番号が、
1:25:08	を、
1:25:09	400、
1:25:14	63 ページ辺りを少し見ていただいてよろしいでしょうか。
1:25:22	こちら、埋め戻し炉の物産共同動的特性につきましては修正寺中モデルを使うというところでこの参考資料 7 をご説明しておりますその中で、
1:25:34	463 ページの図の 1-6 というところで、G1 モデルは試験結果と十分、
1:25:43	妥当な設定になっているというところを確認しているというところがございます。以上です。
1:25:52	規制庁のハツリですはい
1:25:57	初期剛性とか、
1:26:00	強度特性は、
1:26:03	どこを見ればわかるんでしょうか。
1:26:06	はい。中国電力の説明申し上げますので、
1:26:09	実際の初期剛性やそういったものにつきましては設置許可の時に記載された物性時と同じものを設定しております、
1:26:17	すみません、ページ番号で言いますと、24 ページをお願いいたします。
1:26:28	24 ページの表 4.1-3。
1:26:31	上から 3 行目にあります埋戻動というところで、
1:26:35	密度であったり強毒性であったり、またG0 種継承機器。
1:26:39	平成なぜ警察への記載しておりますここは変わっていないというところがございます。
1:26:44	以上です。
1:26:46	規制庁の服部です。そうするという事は、
1:26:50	設置変更許可申請書に記載されていない。
1:26:55	物性値の設定という、
1:26:57	ことにはなあって、新たにこの設工認で何か試験をやって、
1:27:03	設定したということではなくって、
1:27:07	一応
1:27:09	応力解析については、
1:27:14	記載されていないとか木津通設置変更許可の申請書で設定した値を持ってきてるということよろしいですか。
1:27:27	あ、中国電力の伊佐です。はい。すみません。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:30	おっしゃる通りだし設置許可の方では特にはですね基本的な物性値は変わらないというところで、そのあと、
1:27:37	2次元FEM解析でその動的なそのせん断の低減をいかに確認して設定していくかというところで、
1:27:45	この工認では1、
1:27:47	特にRELAPというところで、
1:27:50	修正自治モデルで新たに物理設定したというところで
1:27:55	設置許可に記載されてない物性値として整理をして、今回、
1:28:00	記載をしております。
1:28:02	以上です。規制庁の服部です。わかりました
1:28:06	この後、じゃあ許可2で使ってる物性値は使っていないんで、使っていないんですよ全応力解析で割って聞こうと思ったんですけど。
1:28:14	そうではないということが今わかりました。
1:28:20	うん。
1:28:24	はい。
1:28:27	資料の内容については理解しわかりました以上です。
1:28:37	はい、鬼頭知委員ほかありますか。
1:28:42	私から
1:28:45	この地盤の強い性能の資料、
1:28:48	の
1:28:51	としては、この掘削の話っていうのはどういうふうな扱いになるんですけど。
1:29:00	喰食う前の条件っていうのを、
1:29:06	物性値なので、あんまり、
1:29:09	関係ないと思うんですけども、所々断面とか例えばですね、
1:29:14	24番の資料のところちょっとメンズ11ページとかに出てくるんですけど、
1:29:21	高が今、
1:29:24	布施熊井の話があって、
1:29:26	あって、
1:29:29	本筋とはあまり関係ないところなんですけど、そういうところでどういうふうな整理になってるのかなっていうところについて、はい、説明をお願いします。
1:29:46	はい。中国電力の磯田です。はい。ちょっと、そうですね今、
1:29:53	千葉さんがおっしゃった通り、イデありまして

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:56	今回ですねその掘削というのは、衛星というところになりますので、ちょっとすいません特に先ほど言った 11 ページのA断面、これにつきましては、
1:30:06	そういったところが反映する必要があるかと思えますのでちょっとこちら、
1:30:11	反映させていただけたらと思います。
1:30:15	以上です。
1:30:18	はい。わかりました
1:30:21	ではそういったことで反映するということでは理解をいたしました。
1:30:26	11 ページの 1 の図のB断面なんですけどこれは
1:30:33	あと右側の白抜きの建物は、1 号の施設なんですけど、その外側に一点鎖線があつて、これって岩級境界線。
1:30:43	と。
1:30:45	ちょっと凡例外傷かなと思うのでちょっとそこは適正化しといてくださいっていう。
1:30:52	所。
1:30:53	ですはい。
1:30:54	ちょっとそれだけですか。お願いします。
1:30:58	はい。中国電力、磯田です。はい。ありがとうございます。おっしゃる通りちょっと少し、
1:31:02	わかりにくくなっておりますのでこちらB断面含めて修正させていただきます。
1:31:08	以上です。はい。
1:31:11	私から以上ですか本。
1:31:13	一番の申請の関係でありますか。
1:31:19	では、地盤の支持性能について。はい。
1:31:24	以上といたします。
1:31:27	では、一旦、ちょっとヒアリング開始から時間が経過しましたのでここで一旦休憩を入れたいと思いますので、録音を停止いたします。
1:31:39	はい。規制庁チギラです。それではヒアリング再開いたします。
1:31:43	では引き続き説明の方をお願いいたします。
1:31:53	中国電力の大沼です。それでは残りの原子炉建物の関係について、
1:31:58	ちょっと資料の確認の関係についていただきます。初めに資料番号 14 番、原子炉建物の地震応答計算書の、
1:32:06	コメント回答整理表をお願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:10	こちらの 2 ページ。
1:32:11	お願いいたします。
1:32:14	はい。お願いします。No.4。
1:32:18	こちらがコメント内容。
1:32:20	鉛直方向の地震応答解析モデルの設定方法についてせん断ばねの扱い等の詳細を説明することというふうになってまして、
1:32:28	前回、3 月 10 日、
1:32:30	にご説明を一度させていただいて継続のコメントとなっております。
1:32:35	今回赤字でコメント回答欄に記載させていただいてる通り、鉛直方向のせん断ばねとして評価した第一撃以外の壁の選定基準について追記をしております。
1:32:47	資料のほうでご説明させていただきますので、資料 16 意見としてお願いいたします。
1:32:55	資料 16 番の李浩建物地震応答計算書に関する補足説明資料の通しの 13 ページをお願いいたします。
1:33:07	こちら 13 ページの図 4-1。
1:33:10	横方向の地震応答解析モデルの
1:33:13	中で赤で示した部分がせん断ばねとして考慮している部分になります。
1:33:18	こちらの、
1:33:20	こちらについて、ウエノ、
1:33:22	注記部分の記載を、
1:33:25	供述させていただいております、
1:33:29	先ほどご説明した通り、その団体の選定基準として壁厚が比較的大きく、
1:33:35	耐震包装、括弧軸を入れなくつないでいる壁開口を有する壁や、
1:33:41	耐震以外の壁を含むを選定しているということで、
1:33:44	記載をさせていただいております。
1:33:48	No.4 については、
1:33:50	回答は以上です。
1:33:52	はい。岸田チギラです。それでは今の内容については、
1:34:05	規制庁の三浦です。この御説明でいいんだけどちょっと気になったのがね。
1:34:11	例えば 14 ページ同じ資料の、
1:34:16	資料 16-44 ページですか、これ。
1:34:20	柱型も見てますよね、せん断ばねとして。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:25	それは、
1:34:27	なぜ、なぜですか。
1:34:32	はい。中国電力の小熊です。前回のヒアリングの際も、
1:34:36	同様のご指摘があつて、説明したような記憶がありますけどあごめんなさい思い出した思い出したらこれあれなんだ壁の一環で開口があるから走るために見えるっていう話でしたっけ。
1:34:47	その通りでございます。
1:34:49	はい、わかりました。じゃあこれはこれで結構です。はい。
1:34:57	はい、木崎です。それでは、次の説明をお願いします。
1:35:03	はい。中国電力の上間です。
1:35:05	原子炉建物の地震応答計算書については、あと、
1:35:10	この部会等整理表 7 ページのところに、
1:35:13	記載の適正化 9 ヶ所ございますけどもこちらは、
1:35:17	記載の適正化に関するもので、内容のところでも述べないため、資料を使った説明を割愛させていただきたいと思います。
1:35:25	建築建物自身と計算層については以上になります。
1:35:30	はい、わかりました。原子炉建物理事長と計算書に関して何かありますか。
1:35:37	特にないですね。はい。それでは次の基礎スラブの説明の方をお願いします。
1:35:44	はい。中国電力のオオグマです。
1:35:47	それでは、資料番号 17 番の原子炉建物基礎スラブの耐震性についての計算書の回答整理表をお願いいたします。
1:35:57	こちらの申し送り事項に対する回答が 1 件あります。
1:36:01	1 ページ目の、詳細設計申し送り事項の判断に 19 になります。
1:36:08	ポイント内については、こちらに記載して、
1:36:11	実践をして、下線引いてる部分になりましてポンプピットの評価に関する内容になっております。
1:36:18	こちらも前回、3 月 10 日のヒアリングで回答させていただきまして、継続のコメントとなっております。
1:36:24	%マツノコガイトウした黒字部分のコメント回答の部分に対して、
1:36:29	ピットの既工認の評価について、最終的には、
1:36:33	ご清祥の方にお伝えしているということも踏まえて、
1:36:36	基本が佐瀬代表がみたくなるようにこちら申請日を整備を追記させていただいてるとともに、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:42	工認では地震荷重と温度荷重の組み合わせは、考慮していなかったと。
1:36:47	ということと、あと今回、Ss地震動に対して、
1:36:51	設計、短期を確認するということで、SD評価をSs評価に包絡させる、させられされるということで、
1:36:59	今回Ssに対してピットの評価を行うということで、6番目に記載をしております。
1:37:05	タダウチオクにポート回答に対応するように適正化を。
1:37:09	しております。
1:37:10	資料の方でご説明させていただきますので1号イリエ9番。
1:37:15	お願いします。
1:37:18	資料19の原子炉建物基礎スラブの耐震性についての計算書に関する補足説明資料。
1:37:25	こちらの通しの22ページをお願いいたします。
1:37:33	平ポンプピットの補足説明資料の、
1:37:36	検討概要になっておりまして、
1:37:39	企業発注の部分を追加しております。
1:37:42	一段落目の部分については機構における評価内容として、
1:37:46	既工認ではS版及びSⅡに対する地震力に対して評価をしていたということに記載しております。
1:37:52	2段落目については、既工認の評価内容を踏まえた今回プランでの評価方針として、
1:37:57	SDまたはSsに対して、SD及びSsに対して評価を行うということに記載。
1:38:04	しております。
1:38:05	25ページをお願いいたします。
1:38:09	検討方法の部分の黄色ハッチングを通知しております。
1:38:14	今日についてはSD評価。
1:38:16	を省略する理由について、数値評価に包絡されるということで、
1:38:20	その理由を記載しております。
1:38:24	30ページをお願いします。
1:38:28	まとめになっておりまして企業発注部分の、SD及びSs地震時、
1:38:33	に対して評価を行って、機能維持することを確認したということで、
1:38:38	検討方針と合うようにこちらSd-D審議ということも、
1:38:42	追記させていただいております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:46	福家詳細設計申し送りコウノNo.29 に対する回答は以上です。
1:38:53	はい、規制庁のチギラです。
1:38:55	今説明いただいた資料 17 番、申し送り事項の 29 番の回答内容について、こちらでもですね昭和 59 年のですね補正の内容を確認させていただきまして、
1:39:08	確認できましたので、
1:39:11	この回答で結構ですと、温度荷重とですね地震荷重の組み合わせもしてないということも確認できましたので、はい。この内容で結構かと思えます。はい、ありがとうございました。
1:39:25	は、
1:39:26	他に説明する内容ありますか。
1:39:30	中国電力の小熊です。
1:39:32	ここにコメントはこれ以上でございまして、ポイントが同整理の 3 ページのところに、
1:39:38	記載の適正化。
1:39:39	4 件、記載させていただいておりますけれども、
1:39:43	水の水平件他の当初からの水源テプラ展開。
1:39:47	あと誤記修正になりますので、説明は割愛させていただきたいと思えます。以上です。はい、わかりました。
1:39:54	それでは原子炉建物基礎スラブの資料に関してこちらから、何か確認する点がある方、お願いします。
1:40:06	はい、特にはないですね。
1:40:08	はい。
1:40:10	現状建物基礎スラブについては以上といたします。
1:40:14	では建築関係、
1:40:17	この内容については以上でしょうか。説明は以上でしょうか。
1:40:22	中国電力のオチアイの建築の関係で、当社から説明事項は以上になります。以上です。はい、わかりました。
1:40:31	それではこちらからも特にはないですかね。
1:40:34	はい、わかりました。
1:40:35	それではこちらから問題ありませんので本日のヒアリングの方、資料いたします。ありがとうございました。
1:40:44	ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。